

甲賀市の中心地、新しい文化の中にも古の文化を活かす

いにしえ

みなくち自治振興会

水口と言えば、城下町・宿場町として全国にその名を馳せています。古城山と旧東海道三筋の道を中心に開けた地域を基盤に、去る5月21日みなくち自治振興会が設立されました。同自治振興会は、甲賀市の中心地での活動が期待されています。そして、今「緑と碧水に育まれた歴史と文化のまち水口」をキーワードに新しい一歩を踏み出されました。

自治振興会は、9月1日現在、市の提案23地区の内、19地区で設立されています



ちの方が多くに感激しました。

これから本格化する自治振興会活動では、一人でも多くの住民の方の参加を呼びかけ、夢あるまちづくりに立ち向かっていきたいと思っています。

——既に事業も実施されているということですが

当会でも既に事業に取り組んでおり、通学路の安全点検や年代別サロンの開設、花いっぱい運動などを実施し、好評をいただきました。

10月には、3月11日に起きた東日本大震災を教訓に大規模避難訓練、高齢化の進む地域のため高齢者が集うサロンや交通安全教室などの事業も予定しています。

また、水口の特産品かんぴょうを活かした「ゆうがお茶」の販売も手がけており、歴史の中に埋もれた地域の特産品の掘り起しにも力を注いでいます。

——みなくち自治振興会のPRをどうぞ

当地域の魅力は古城山の自然や三筋の街道を中心とした歴史に恵まれたところです。

この自然や歴史を活かし、“子どもや孫たちがずっと住み続けたい”と思える地域づくりのために活動を展開したいと思っています。

まだまだ歩きながら考える段階ですが、この地域に住んでおられる7,000人の皆さんの知恵と力を合わせて進めてまいります。

問い合わせ 地域コミュニティ推進室 ☎65-0687 ☎63-4554



みなくち自治振興会 山川宏治会長に聞きました

——自治振興会設立に至った経過やご苦労されたことをお聞かせください

当自治振興会を構成する区・自治会数は、27を数え、それぞれの地域特性を活かしながら一つにまとめられるのが大きな課題でした。

しかしながら、当地区は幸いにも水口祭りの「曳山」を中心とした人と人とのつながりが強く、そのつながりを大切にしながら、これからの地域づくり・まちづくりを考えることとしました。

そうした中、昨年11月末には、準備会を発足させ、地域にお住まいの多くの住民の皆さんの意見を、まずはお伺いしなければならぬと考えました。

そのため、準備会では、設立準備会だよりの発行や検討会の実施、先例地の方をお招きしての講演会などを開催しながら、地域が一丸となることに重点を置きながら取り組みを進めてきたところです。

特に検討会には、約100人に及ぶ住民の方が集まっていたことに驚き、また同時に地域に関心をお持ち

表情豊かな里山の花

佐山地域市民センター



佐山地域市民センターのお向かいの家の庭に咲いている花が気になりました。葉がなく、茎はまっすぐ、茎の上にピノクの花がついていて、数本ずつ固まって咲いています。まるで彼岸花のようですが、彼岸花が咲くには早く、色も違います。さっそく写真に撮り、調べてみることにしました。

その花は「ナツズイセン」という花で、野原や里山などに咲く多年草でした。ほかにも咲いていないかと、外に行く機会を探してみましたが、なかなか出会うことはありませんでした。凛と咲く「ナツズイセン」は、胸をシヤンと張って、上を向いて生きていけと激励しているように思いました。一方、花弁の淡いピノクは優しい色で心を和ませてくれます。

ひとつの花でもいろんな表情を見せてくれます。皆さんの周りにもいろんな表情の花があるのではないのでしょうか。

市民センターに、手作りの看板

朝宮地域市民センター



当センターでは、お客様から「看板が見にくい」という意見もいただきました。そこで、前の花壇のタイル壁

に、手作りの看板を貼り付けました。さらに目を引くようにと、ペットボトルなど廃物を利用した風車を設置しましたが、来られる方から「よく回るね」「どうやって作るの?」などと言われ、看板よりも注目されるようになってしまいました。もともと風がよく通る場所だったので、見た目だけでもお客様に涼んでいただければと思い作りましたが、涼感を得てもらった以外に、証明発行でお待ちいただく間の話題など、別のことで一役買ってこれそうです。

子育て広場 わのわのわ

地域で子育てしましょう!

柏木地域市民センター



柏木地域では、毎月第4金曜日の午前10時30分から、柏木公民館2階の集会所で、未就園児を対象とした、子育て広場「わ(和)のわ(話)のわ(輪)」が開催されています。普段、あまり出会えないかわいらしいお客様

が、お母さんやおうちのひとと一緒にたくさん遊びにきてくれます。同年齢や異年齢で遊んだり、時には衝突したり...。集団でのかわりの中で、子どもは大きく成長します。お母さん達は、会話を通して悩みを共有できる事もあります。子育て中の仲間や大先輩からちょっとしたコツをつかむことで、子育ての苦労が軽減されたり、育児が数倍おもしろくなることもあります。

顔見知りの人も、そうでない人も、和んで、話して、輪になって...そんなひとときを一緒に過ごしてみませんか。

野洲川自然教室

大野地域市民センター



7月24日、甲賀市コネットと野洲川を愛する会が、大野地域の野洲川で「野洲川自然教室」を開催されました。参加者は、川に住む魚の説明と魚取りの注意事項

頂を聞いてから、川に入ってニジマス取りを体験しました。一部を堰き止めた川には、沢山のニジマスが放流してありました。保護者と子どもたちは、思い思いに魚を捕まえようと川の中を歩き回り、素手でぬめりのある魚をよっつと捕まえると、「捕まえたぞ」と嬉しそうでした。川が澄むまでの時間は水鉄砲を作ったり遊びました。親子で川遊びをしたり、魚の生態を観察したりという機会は少ないので、この体験を生かして水環境に対する意識の変化があったのではないかと思います。

新名神・甲南PAで情報発信処がオープン

新名神高速道路甲南パーキングエリア(上り線)の施設2階に、このほど当市の情報発信処がオープンしました。

この情報発信処は、新名神高速道路を活用した観光戦略に取り組み「こうかブランドマネジメント会議」が設置したもので、各種パネルやパネル展示で旬の観光情報を発信しているほか、甲南パーキングエリアを運営する「株式会社忍者の里甲南」によって設置されている忍者の顔出しパネルや甲南を一望できる展望台もあり、憩いの場となっています。フードコート上方に掲げられた「くると甲賀・観光情報発信処」の看板が訪れた人をおもてなしの心でお迎えしています。

すでにオープンしている土山サービスエリアのアンテナショップ(開設日時は、土日祝日の10時~16時)と併せて、ぜひお立ち寄りください。



タヌキと忍者と宿場が描かれた案内看板が目印



甲南PA 2階にオープンした情報発信処

問い合わせ 観光戦略推進室 観光戦略推進係 ☎65-0708 ☎63-4087